

住職の写真日記より【9月】 ※ホームページではカラーで見られます

9月は地震づくしの1カ月。防災意識の低さを痛感いたしました。お寺はその日のうちに停電が解消したので、翌日大勢の方が携帯電話の充電に来たり、テレビで情報を得たりと出入りしてました。被害のひどかった胆振東部地区の復興をただただ願うばかりです。



1日 北広島光顕寺様報恩講
千正寺からも大勢の方が参拝されました。私が導師をつとめさせていただきます。



5日 台風21号で
朝門開けにいったら、門を固定する穴が根元から吹っ飛んでいてびっくり。



6日 震度6弱の大地震
以前、千正寺に勤務していた安平町、斎藤君のお寺の本堂は、ひどい事になってました。



7日 ガソリン、ピンチ!
地震の前日に赤ランプ点灯。なので行列に並ぶ事もできず。3日後にようやく満タンに。それまで坊守の車でお参りに



9日 空の食料品棚
安平町の帰り道、坊守とスーパーに寄ってみました。こんな情景今まで見たことがありません。



23日 お彼岸の中日
大勢のお参りをいただきました。後半、被災した寺院の映像も流しましたが、皆さんショックのようでした。



17日 バイト始めました
純正が、近くの焼肉屋さんで初めてのバイト。慣れないながらも、とても楽しいと本人。夜10時まで。



27日 みんなでランチ
彼岸納骨堂清掃の後、皆さんと近くのお寿司屋さんにて。800円のランチにしてはとても豪華で美味です



28日 人間ドックへ
2年ぶりになります。近くの第一病院へ。以前からみると、バリウムがだいぶ飲みやすくなったような気がしますね。

坊守の独り言

9月6日の地震怖かったですね。

一人暮らしのご門徒も多いので、お一人お一人のお顔が浮かんできました。停電も長かったので不安な時間を過ごされたことでしょう。厚真町、安平町とご厚意にしているお寺も被災され18年前お手伝いして下さっていた安平町浄願寺斎藤さんのお寺もその一つでした。安平町早來の親戚寺院の本堂は立ち入りが出来ません。

厚真町真正寺さんの木造建築の素晴らしい本堂も壊滅的被害に。70年前の戦後何も無い時代に心のよりどころとしてご門徒が一丸となって建立された本堂。

真正寺さんに震災後おじゃましたところ、総代さん、婦人会の皆さんがお掃除に来ていました。

自らも被災している中、お寺のお掃除をされている姿に深く感銘し、つらく苦しい中にも感謝の気持ちに出会った時間でした。